

議事 1

第 9 期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案に係る パブリックコメント手続の実施結果について

1 実施期間 令和 5 年 9 月 2 5 日（月）～1 0 月 2 4 日（火）（3 0 日間）

2 意見提出状況

意見提出者	5 0 人		
意見の件数	2 6 1 件		
	A 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	1 2 件	
	B 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの	1 5 0 件	
	C 計画には盛り込まないもの	0 件	
	D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	2 2 件	
	E その他要望・意見等	7 7 件	

3 主な意見の概要

A 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの（1 2 件）

	意見の概要	対応状況	意見No.
①	・進捗管理について、PDCA図を掲載した方がわかりやすい	【第 1 編第 4 章】に PDCA サイクル図を盛り込む	1
②	・総人口に対する 6 5 歳以上人口の割合と高齢化率の数値が異なる	【本市の高齢者等の状況と国・県との比較】の表について、誤解を招かないよう、人口と高齢化率を分けて記載する	43
③ ┆ ④	・実態調査の調査数、回答数、無回答者数などを記載した方がいい (2 件)	【第 2 編】に参考資料として「高齢者等実態調査の概要」を盛り込む	44 45
⑤ ┆ ⑧	・認知症に関する相談窓口について、認知度が低い (4 件)	【第 5 編第 3 章 1 - (1) 現状と課題】に「認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状を踏まえ」を盛り込む	46 47 48 49
⑨ ┆ ⑫	・介護に関する相談窓口や介護保険のサービスを受ける方法などがわからない (4 件)	【第 5 編第 5 章 3 - (2) 現状と課題】に「相談窓口などの情報が必要な方に届いていない状況が見受けられます」を盛り込む	50 92 127 233

B 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの（150件）

- 地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、自分らしく健やかに暮らせる安心安全なまちづくりを望みます。
- 人生100年時代をいかに健康に過ごせるかは誰もが認識している課題だと思う。
- 第9期計画においても17の日常生活圏域を設定し、各圏域に応じて各種取り組みを推進してほしい。
- 認知症の方はもちろんのこと、その家族においても何らかの支援対策がスムーズに進められるよう望みます。
- 人材確保が課題であるとよく聞くと、働く人の待遇面が充実するよう進めてほしい。
- この計画が推進・実行されれば必ず良い高齢者の生活になると思います。

C 計画には盛り込まないもの（0件）

D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの（22件）

- 地域で高齢者が気軽に買い物に行ける手段の構築を念頭においてほしい。
- 加齢性難聴者への補聴器購入助成をお願いします。
- 20年後、30年後をどのように生きていくのか教育の場でも考えてもらいたい。

E その他要望・意見等（77件）

- 要支援から要介護にならぬよう一人一人が努力しないといけないと感じます。
- 介護保険料が高い。

4 パブリックコメント手続結果の報告について

- 令和5年第4回市議会定例会の防災福祉こども委員会において報告。
- 市政情報コーナーや市ホームページ等により公表。

第9期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1. 意見の募集期間 令和5年9月25日（月）～10月24日（火）

2. 意見の提出者数 50人（261件）

3. 意見の対応状況

（単位：件）

項目 処理区分	1. 第1編 「計画策定の趣 旨等」について	2. 第2編 「本市高齢者を 取り巻く現状」 について	3. 第3章 「日常生活圏 域」について	4. 第4章 「施策の体系」 について	5. 第5章 「施策の展開」 について	6. 第6章 「サービスの見 込量及び目標 量」について	7. その他・計 画全般について	計
A. 意見の趣旨等を反映し、 計画に盛り込むもの	1	8	1	1	0	0	1	12
B. 意見の趣旨等は、計画 (案)に盛り込み済みのもの	27	20	25	20	34	9	15	150
C. 計画には盛り込まないもの	0	0	0	0	0	0	0	0
D. 具体的な事業の実施にあ たり参考とするもの	4	4	2	5	3	2	2	22
E. その他要望・意見等	10	17	7	10	8	14	11	77
計	42	49	35	36	45	25	29	261

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について (令和5年9月25日～令和5年10月24日実施)

意見等を受けた人数

50人

対応区別の項目数、件数

対応区分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	12
B. 意見の趣旨等は、計画(案)に盛り込み済みのもの	150
C. 計画には盛り込まないもの	0
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	22
E. その他要望・意見等	77
計	261

○対応区分 「A. 計画に盛り込むもの」、「B. 計画(案)に盛り込み済みのもの」、「C. 計画に盛り込まないもの」

「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	第1編	素案P3計画の進捗管理について、全体計画をわかりやすいPDCA推進図として掲載した方がより理解できると思う	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公開」－2の計画の進行管理体制に「PDCAサイクル図」を盛り込みます。	A
2	第1編	医療と高齢者施設の自立支援の本格的な取組と意識の改革が必要だと考えます。また、市職員を含め、相談者のニーズに合った医療・施設を紹介できる人員の配置と情報の共有が必要だと思います。数年前より地域包括ケアシステムを謳っていますが、在宅サービスの充実とそれに伴う人員の確保。働き手確保のための、待機児童の解消や担い手となりうる引退した方への周知拡大をしなければ、今後2040問題には対応しきれないと思います。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
3	第1編	システム作りは必要ですが、それを市民に広く周知させ活用できるようにしなければいけないと考えます。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公表」で「より多くの市民に関心を持っていただけるよう、あらゆる機会を通じて計画に関する情報を積極的に公表します。」としております。	B
4	第1編	地域包括ケアシステムの浸透もしてきていると思うようになってきましたが、私たちはあと一歩踏み出さないと自分らしさというまでには難しいのと感じます。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、高齢者を地域全体で支えるための体制整備について盛り込んでおり、引き続き、高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるようさらに推進してまいります。	B
5	第1編	誰一人取り残さないというSDGsも一緒なのかとも思っています。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第5章 SDGsとの関連」で「本計画においても、SDGsのゴールの達成に向け、本市の高齢者福祉を推進していきます。」としております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
6	第1編	高齢化は今後の大きな課題で、早急な施策が必要と感じていました。趣旨には同意しますが、出生率の低下、人口減少の進む中、高齢者の保健福祉を縦割で計画しても担い手不足や様々な問題が出てくるでしょう。高齢者を含む総合的計画の中の一つとしての方が実現しやすいのではないのでしょうか。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第2章 計画の位置づけ」－2－で「本計画は、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向について、基本的な指針を定めた最上位計画である鹿児島市総合計画との整合性を図った上で策定します。」としております。	B
7	第1編	本市に於いては高齢化率が急速に進んでおり、今後の施策に65才以上の高齢者が誰一人残さないために「計画策定」に基づいた「委員会の設置」「市民の意見反映」を早急に進めてほしいです。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公表」1【計画の策定体制】において委員会の設置、市民の意見反映をすることとしております。	B
8	第1編	策定の趣旨に基づき広範囲の方々の意見を取り入れて策定していくことは良いと思います。私達は必要な時に必要な支援が受けられることを望みます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
9	第1編	高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画をぜひ一体的に策定し、現実的に実施してほしい。この趣旨については賛成できるし期待している。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
10	第1編	高齢者が住み慣れた地域で自分らしく健やかに暮らせていくことが一番だと思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
11	第1編	介護認定を受けていない町内会未加入等の独居老人について実態調査をしっかりとしていただければと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)で高齢者が地域で孤立せずに安心して暮らせるよう、心をつなぐともしびグループ活動推進事業等を実施することとしております。	B
12	第1編	勉強不足ですが、SDGs 国際目標で17のゴールと169のターゲットについてよく解りませんでした。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第5章 SDGsとの関連」で「本計画と特に関連があるゴール」について、掲載しております。	B
13	第1編	今回のパブリックコメントにおいては高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案と言うことであるので、その世代のことが記載されているのは当然であるが、鹿児島市自体は色々な世代の人々で構成されている訳であり世代間の整合性は、誰がどのようにして図っていくのか、これからの世代の人も大事にすることが、皆が住み続けたくなる安心安全なまちづくりではないだろうかと思っておりますので配慮方よろしくお願いたします。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第2章 計画の位置づけ」－2で「鹿児島市総合計画及び地域福祉計画との整合性を図り、関連する他の計画との調和を保ちながら策定を行います。」としております。	B
14	第1編	高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、一体的に策定されると2025年に取り組み問題も見えてくるでしょう。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
15	第1編	地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、自分らしく健やかに暮らせる安心安全なまちづくりをのぞみます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
16	第1編	介護に携わる現場の方々意見も取り入れる必要があります。	・ご意見については、本市の実情に応じた計画策定に向けて、一般高齢者や要支援・要介護認定者を対象に高齢者等実態調査を実施していることや、策定・管理委員会の委員である、介護労働安定センターや介護支援専門員協会など各種関係団体の代表の方々からご意見をいただいております。	B
17	第1編	地域の実情をどのように把握されるのか知りたいです。計画が策定されることは必要だと思います。	・ご意見については、本市の実情に応じた計画策定に向けて、一般高齢者や要支援・要介護認定者を対象に高齢者等実態調査を実施しております。	B
18	第1編	「市民、町内会などの～協働して地域高齢者を支えていく必要があります」について“町内会”は、小・中PTA会員が引き受け、悲鳴が上がっているのが現状と聞きます。共働き、PTA活動、あいご活動に加え、婦人部活動が移項されてこれに高齢者支えまではキャパを超えるのではないのでしょうか。地域町内会は土台が危ぶまれ、現役員の大きい悩みです。町内会に誘えど、老人の姿が見られなくなり久しいです。まだ元気のある50代～70代はボランティアの一員として登録し、お世話をしたいとの希望です。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいつくり・社会参画の促進」－2－(1)の【今後の方策】で「高齢者によるボランティア活動や生涯学習・スポーツ活動を推進するなど、社会参画を支援するとともに、高齢者が長年培ってきた豊富な知識や経験を生かすことができるよう、就業機会の確保を図る。」としております。	B
19	第1編	団塊の世代、団塊ジュニアの世代とさらなる高齢化に保健、福祉、介護保険、市として計画は不可欠だと考えます。元気で暮らせるのが一番ですが、行政、地域の方々も協力できる体制を願います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
20	第1編	認知症について本人が認識しづらいことであるため、気軽に受診しやすく家族が相談できる仕組みの構築が今以上に必要となってくると思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「今後の方策」の中で、認知症の人本人が気軽に受診しやすく家族が相談できる仕組みの一つとして、「認知症初期集中支援チームを活用し、当事者の意向を十分に把握する中で、早期段階からの適切な支援を行う」こと等を記載しております。	B
21	第1編	少子高齢化が進む中、高齢者は介護保険料を支払っている。高齢者で困っている方を地域でサポートすることが大事である。有料老人ホーム（スタッフの配置基準がゆるい）が鹿児島市内で多くできていることで終の住処であり、支援が整っている特養の入居者様や入居申込みが少ないのが現状です。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、高齢者を地域全体で支えるための体制整備について盛り込んでおり、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができ、また、様々な介護ニーズに対応できるよう、今後も地域の実情に応じて、高齢者を地域全体で支えるための各種取組を推進します。	B
22	第1編	第5章SDGsとの関連 現在物価や水道光熱費の高騰によるコスト増加で介護施設・事業所の約3割が事業継続の危機にあることが日刊介護新聞のアンケートで明らかになっています。照明をLEDに交換、エアコンを高効率のものに買いなおすなど、環境を最優先にした取組みを行いたくとも資金不足で実施が困難な施設もあります。「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」は実現が望まれる目標ではありますが、デマが壮大過ぎて実感が伴わないのではないかと考えます。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第2章 計画の位置づけ」で鹿児島市総合計画及び鹿児島市地域福祉計画との整合性を図ることから、「第5章 SDGsとの関連」を掲載しております。	B
23	第1編	市民の意見に耳をかたむけてください	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公表」1－(2)で「パブリックコメント手続を実施し、市民からの意見の把握に努めます。」としております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
24	第1編	SDGsゴール達成に向けられた様々な素晴らしい施策に賛同いたしました。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
25	第1編	鹿児島市民のために細かく計画が立てられていると思います。委員会の設置について、各専門部門が連携し、総合的に課題への対応、検討に対してやはり当事者（現場）の意見を聞くのが大事なのは。	・ご意見については、本市の実情に応じた計画策定に向けて、一般高齢者や要支援・要介護認定者を対象に高齢者等実態調査を実施していることや、策定・管理委員会の委員である、介護労働安定センターや介護支援専門員協会など各種関係団体の代表の方々からご意見をいただいております。	B
26	第1編	市民の意見反映に積極的に真摯に取り組んでいく必要があると思います。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公表」1－(2)で「パブリックコメント手続を実施し、市民からの意見の把握に努めます。」としております。	B
27	第1編	愛のふれあい会食の計画はとても良いと思います。外出することによって足腰が丈夫になるし、おしゃべりをするによって頭のトレーニングにもなります。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
28	第1編	町内会などにさらに呼びかけて集いの場を沢山設けるようにご指導をお願いしたいです。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
29	第1編	高齢化が深刻な問題だとよくわかりました。それぞれの暮らしに合わせられるように考えられていると思いました。当事者の意見は聞いてほしいですが、難しいと思います。公的サービス以外の所に頼ると地域差が出やすいと思うので差が出ないようにしてほしい。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
30	第1編	20年後以降の問題について、高齢者施設運営や利用方法・必要性・建物価値など補助金を使用して建設されたものの展望を今考えておく必要が同時に求められる課題だと考えます。	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。ご意見については、今後、事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
31	第1編	補聴器の問題、保険対象になぜならないのか。補聴器を買えないばかりに、世間とのつながりもままならず、遠のいていく。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
32	第1編	補聴器を早く保健認定してほしい。困っている人達が非常に多い。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
33	第1編	令和5年5月に98才の母親を見送りました。田舎から本市へ住所も移し、多方面に渡り、充実した介護などしていただきました。有難うございました。少しでも周りの人達と共に心地よい環境を作りましょう！と日々奔走中です。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
34	第1編	高齢者社会のみの問題ではなく人口減少様々な価値観の変化、時代の流れ時代に添ったものの考え方あまりにも一部の者の考え方を（意見を）尊重するのは良い事と思うが、日本国家はどういう人物がどのような発想で発展してきたかを学ぶべきと思う	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
35	第1編	地域住民の生活状況や家族構成等個々の状況を綿密に把握できるのは町内会や民生委員の活動しかありません。町内会への加入者が住民の半数にも満たない状況の地域が多々あり苦慮しているのが現状ですが、何か問題が生じた場合は町内会員以外の住民でも差別することなく問題解決に奔走しております。よって鹿児島市に住民登録している全市民の町内会加入を市より協力で推進すべく、住民条例に定めてほしいと願っております。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
36	第1編	高齢化率が29%を超え、今後益々高齢化が進行する状況下を考えると3年毎の見直しでは、年度に応じた対応力が欠ける気がします。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
37	第1編	本第9期計画を支えるために、親子三世代が確実に暮らせる、若者の市県外流出を止める基本政策がないと絵に書いた餅だ。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
38	第1編	地域で民生委員をしています。高齢者、家族に応じたサービス提供、保健、福祉などむずかしく感じています。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
39	第1編	これから約20年は高齢者増加傾向にあり、今以上に所得格差のない介護サービスの提供が求められると考えます。また、それを支える現子世代や少子化問題について、的確な制度保証やサービス提供（保育・療育等）が必要と思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
40	第1編	わかりました。特にありません。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
41	第1編	丁寧に記載されており、よく理解できる内容でした。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
42	第1編	本当に介護を必要としているのに。まず介護認定が厳しくなり、利用できない。どういった介護認定なのか今一度考え直していただきたいです。	・ご意見として承り、介護認定に係る審査判定を、引き続き適切に行ってまいります。	E
43	第2編	素案P7の上の表高齢化率が総人口に対する比率が市の表示3ヶ所ともちがい、またP7とP6の3ヶ所の高齢化率がちがうので正しい数値へ修正した方がよいと思う。	・ご意見のあったP6は「人口構成割合」で、P7は「高齢化率」であり、数値が異なるため、間違いではございません。また、P7の【本市の高齢者等の状況と国・県との比較】の表にある高齢化率は総人口に対する割合ではなく、年齢不詳を加味した数値です。ご意見の趣旨を踏まえ、誤解を招かないようにするために、本市の高齢者等の状況（人口）と国・県との比較（高齢化率）の表を分けて掲載します。	A
44	第2編	素案P10の最初のところへ市が令和5年2月実施した高齢者等実態調査について、配布した依頼人数、回答した人数、回答率等を記載した方がよいと思う。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第2編 本市高齢者を取り巻く現状」に参考資料として、「高齢者等実態調査の概要」を盛り込みます。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
45	第2編	令和2年を考えた時に65歳以上158,804人、うち要介護者が23,621人、それ以外の高齢者は135,183人、この方々は総合事業対象者または、元気高齢者である。質問内容に回答しているのは元気高齢者が多いように感じ取れます。無回答者の人数の記載と無回答の理由も気になります。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第2編 本市高齢者を取り巻く現状」に参考資料として、「高齢者等実態調査の概要」を盛り込みます。	A
46	第2編	高齢化に伴い要支援・要介護そして認知症も増加傾向にあります。そんな中、在宅での生活を望んでいる方が多いのが現状です。いかに自宅で自分らしく健やかに生活できるのがこれからの福祉の目標になると思います。相談窓口の認知度が低いのは残念です。	・住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会づくりのため、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－【具体的取組】の中で、「地域における支援体制の構築」等に向けた各種施策に取り組むこととしております。また、認知症に関する相談窓口の認知度が低いことについては、1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－【現状と課題】の本文中、「本人に必要なサービス」の前に、「認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状を踏まえ」を盛り込みます。なお、【今後の方策】の中では、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。	A
47	第2編	認知症に関する相談窓口の認知度が低い。やはり、「なってから」の動き出しだろうか…。	・相談窓口の認知度が低いことについては、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－【現状と課題】の本文中、「本人に必要なサービス」の前に、「認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状を踏まえ」を盛り込みます。なお、【今後の方策】の中では、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。また、認知症になる前の取組みについては、「認知症及びその予防に関する正しい知識の普及、相談窓口の周知等、情報提供に努める」としてしております。	A
48	第2編	第2編5(2)認知症に関する相談窓口の認知度で「知らない」が47.5%もいるので、その辺りどうしていくのか方針が示されていないのでは。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－【現状と課題】の本文中、「本人に必要なサービス」の前に、「認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状を踏まえ」を盛り込みます。なお、「今後の方策」の中では、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。	A
49	第2編	市の介護認定率が国・県と比べ高いことや、認知症予防・早期発見・症状等について知りたい方、相談窓口を知らない方が多いことに驚きました。介護支援を受けながらも在宅で1日でも長く生活していきたい気持ちは皆同じだと思います。	・相談窓口を知らない方が多いことについては、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－【現状と課題】の本文中、「本人に必要なサービス」の前に、「認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状を踏まえ」を盛り込みます。なお、【今後の方策】の中では、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。また、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会づくりのため、1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－【具体的取組】の中で、「地域における支援体制の構築」等に向けた各種施策に取り組むこととしております	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
50	第2編	介護は1人で抱え込まない相談窓口を多くの人に知らせてほしいです。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)－【現状と課題】の本文中、「複雑化しています。」を「複雑化しており、相談窓口などの情報が必要な方に届いていない状況が見受けられます。」に修正します。なお、【今後の方策】の中では、「介護サービスをはじめ、高齢者保健福祉の各種サービスの情報提供を行う」としております。	A
51	第2編	老人施設は増加しているが、支援・介護認定者はそれほど増えていないということは、施設が増えすぎているのではないか。	・施設サービスについては、重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、施設サービス基盤の確保について盛り込んでおり、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。	B
52	第2編	地方の高齢化の波が鹿児島市にもひしひしときているのでと感じます。介護施設に勤めている中で意向調査の施設で介護をうけたい9.4%入居したい5.8%に対してどのようにとりにくんでいくかが課題であると感じた。	・施設サービスについては、重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、施設サービス基盤の確保について盛り込んでおり、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。	B
53	第2編	認定率をみても認知症の認識、窓口、在宅医療、県民は受けられるサービスや暮らしやすい支援をもっと活用すべきで、その為には広くサービスの内容を知ってもらう事が大切かと思う。	・ご意見のあった、認知症の認識については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。また、在宅医療については、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、在宅医療・介護の連携推進について盛り込んでおり、在宅医療・介護に関する在宅医療のパンフレット配布や市民向け講演会の開催などにより周知を図ってまいります。	B
54	第2編	本市の65才以上の高齢化率は3人に1人（27.8%）、認知症の相談窓口の認知度「知らない」が47.5%、包括支援センターの認知度27.3%、市民と包括センターの相談窓口の強化。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や体制整備について盛り込んでおります。また、地域包括支援センターについては、ホームページやチラシ等により周知を図ってまいります。	B
55	第2編	（組織に入らない参加しない方を何か良い方法はないか）各町内会及びグループでそれぞれ活動しておりますがグループに入らない行事に参加しない方をどう対処するかが課題です。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいづくり・社会参画の促進」－1－(1)の【今後の方策】で「高齢者同士のふれあい、世代間交流を図るための各種事業を実施し、高齢者の生きがい・仲間づくりを推進します。」としております。	B
56	第2編	現状については少子高齢化社会にあって常に人口減少の不安を危惧しており、人生100年時代をいかに健康に過ごせるかは誰もが認識している課題だと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいづくり・社会参画の促進」－1－(1)の【現状と課題】で「人生100年時代を見据え、高齢者をはじめ全ての人が生涯にわたって元気に活躍し続けられる社会が求められています」としております。	B
57	第2編	認知症の相談窓口について、住民がわかりやすいように示してほしいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「相談窓口の周知等、情報提供に努める」、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
58	第2編	高齢者情報は重要であるが、高齢者を支える現場の情報が少ない。介護現場員から聞いた問題や要望についての情報こそ重要ではないかと考える。	・ご意見については、本市の実情に応じた計画策定に向けて、一般高齢者や要支援・要介護認定者を対象に高齢者等実態調査を実施していることや、策定・管理委員会の委員である、介護労働安定センターや介護支援専門員協会など各種関係団体の代表の方々からご意見をいただいております。	B
59	第2編	高齢化率が自分を含めて高くなっていると感じます。認知症になっても地域で生活できたらいいと思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
60	第2編	高齢者の介護の意向、生活場所で「自宅生活」が圧倒的に多い。このことは本計画のベースに据えられたい。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第1章 計画策定の趣旨」で「高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう」としてしております。	B
61	第2編	介護認定を受けた方の介護をされている方が高齢者であるためサービスを利用停止している場合、介護がむずかしくなってきた時、状況がわかりにくい。介護利用してなくても定期的に訪問は必要だと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)の【今後の方策】で「高齢者が地域で孤立せずに安心して暮らせるよう、地域による福祉活動を推進する」としてしております。	B
62	第2編	住み慣れた場所で近い家族と過ごすことが出来る在宅医療のシステムはいいと思いますが、家族の生活状況次第では家族の負担が多くなり許容度を超えれば継続がむずかしくなります。きめ細やかな専門家のアドバイスを気軽に知ることが出来るようになればと思います。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、在宅医療・介護の連携推進について盛り込んでおり、在宅医療・介護従事者の連携体制の構築や在宅医療・介護従事者の資質向上に努めてまいります。	B
63	第2編	“生活場所”の意向の78.9%も驚く、なのに在宅医療を知らない分からないは、医療の供給の点でこのままで良いのか…とも思います。	・在宅医療については、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、在宅医療・介護の連携推進について盛り込んでおり、在宅医療・介護に関する在宅医療のパフレット配布や市民向け講演会の開催などにより周知を図ってまいります。	B
64	第2編	5 認知症に対する認識 (1) 認知症に関して知りたいこと 既に認知症と診断を受けた方、その家族の「知りたいこと」については認知症の予防方法、早期発見の目安、症状についてよりも、認知症の人への対応方法や本人家族が受容できない精神的負担等を軽減することができる働きかけを行うことが大切と考えます。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「具体的取組」の中で、精神的負担の軽減等を図るため「相談員等による相談、訪問指導」や「地域における支援体制の構築」に向けた各種施策を実施することとしております。	B
65	第2編	現状在宅での生活者希望者が多い中で施設入居希望者が年々減ってきている現状です。医療の充実や進歩から考えると、本計画の3年後についても大きな変化はないと推測されますが気軽に在宅サービスが継続して提供できる仕組みや上記したように5年後10年後のモデルについても考察し介護職、介護職以外の処遇充実や施設側が必要とされるサービスが提供できる補助金など入居施設が必要とされる10年後についての今できることを考えていくことを希望します。また、介護施設の建築については年々増えている状況にあると思います。地域の待機者数など需要についての判断が改めて必要だと思います。	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。また、重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
66	第2編	総人口が減少している中で高齢化率は上っている。若い世代の流出や、少子化の中、高齢者が安心して元気に暮らせるように取り組むべき。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－1－(1)の【今後の方策】で「高齢者が安心・快適に過ごせるよう、各種福祉サービスの充実を図ります。」としております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
67	第2編	認知症と本人は思っていません。本人、家族とのかかわり方むずかしいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「今後の方策」の中で、認知症の人本人が気軽に受診しやすく家族が相談できる仕組みとして「認知症初期集中支援チームを活用し、当事者の意向を十分に把握する中で、早期段階からの適切な支援を行う」等、各種施策に取り組むこととしております。	B
68	第2編	益々高齢化が進む中、自立した日常生活ができるためにも、介護予防策にもっと力を入れてもらいたいです。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
69	第2編	高齢化率の上昇、少産多死の時代へ。介護認定者の数はあまり変化ないが、市内と地方では差があるのでは？認知症があると介護認定がおりやすいように感じます。身体介護の必要な方にも申請をしやすいように	・ご意見を踏まえて、本市としては、介護認定者数が漸増傾向で推移する中、国や県と連携を図りながら介護認定の適正化を進めてまいります。また、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)の【現状と課題】で、「介護保険を利用しやすい環境を整える」としております。	B
70	第2編	国と比較して県は高齢者が多いです。認知症の方も65歳以上で7人に1人が認知症高齢者です。予防方法、相談窓口など、本人、家族、地域の方が安心・安全に暮らせるよう、おかえりサポートシステム、チームオレンジなど声掛けが必要と思えます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
71	第2編	認知症に関しては多くの市民が予防について知りたいと感じており、介護事業者としても何かできればと思いました。	・「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「認知症及びその予防に関する正しい知識の普及、相談窓口の周知等、情報提供に努める」、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」としており、ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
72	第2編	一概に要介護4～5が増えているという単純なものではなく、医療ニーズが必要な重度者が増えてきています。ただ特養施設において、医療ニーズ（多いのが鼻腔栄養、痰吸引）に対応できる施設は限られており、対応できる施設においても経管栄養等の受け入れ人数に限界があります。やはり各施設、資格取得や看護師または看護職員の確保が課題となってくるのではないのでしょうか。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
73	第2編	今は現状がわかりにくく相談窓口もわかりづらいですが、関係のある人たちにはわかりやすくなっているのだと思います。市のホームページなどで探しやすくなっていれば良いと思います。世代によって違いがあると思います。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
74	第2編	5認知症に対する認識 グループホーム（認知症対応型生活共同介護）は、一般高齢者の約半数が認知症に対する不安や心配を抱えており、ニーズが認められている一方で、現在の待機者は決して多くはないとの情報もあります。介護支援専門員の認識するニーズや対応サービスと、本人（家族）が利用したい（利用できる＝経済面を含めて）ギャップがある可能性もあり精査が必要かもしれません。	・「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスなどの提供の流れを示した認知症ケアパスや認知症及びその予防に関する正しい知識の普及、相談窓口の周知等、情報提供に努める」、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
75	第2編	素案P6の下の表にある平成27年度の合計が99.9%となっているので100%にすべきと思う。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第2編 本市高齢者を取り巻く現状」－「第1章 高齢者等の現状」－1の人口構成別状況グラフの注釈として「構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。」を盛り込みます。	E
76	第2編	素案P7の下の表の令和2年の要支援小計と要介護小計が合計数から比率は31.0%と69.0%が正しいので要支援1を16.3%へ要介護1を22.5%に修正すべきと思う。	・ご意見を踏まえ、修正いたします。	E
77	第2編	素案P11の上の左表の中で、ほとんど外出しない欄の数値4.2%が記載漏れである。	・ご意見を踏まえ、修正いたします。	E
78	第2編	素案P17の左上の表が100.1% P19の上の表が99.9% P21の上の表が100.1%、P22の下の左図が99.9%、P23の上の表の平成27年度の構成比が100.1%となっているのですべて100%に修正した方がよいと思う。	・ご意見を踏まえ、修正いたします。	E
79	第2編	3. 認知症高齢者の状況の中の（注）日常生活自立度Ⅱ以上の解説を加えてほしい。	・ご意見を踏まえ、説明文を記載いたします。	E
80	第2編	個人差を感じている。声かけの工夫がもっと必要な。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
81	第2編	本市は県よりは高齢化率は低く、県よりは高い状況であり、できるだけ国の高齢化率に近づくようにする程度でいいと思う。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
82	第2編	2の要支援・要介護認定者数の数字の示す占率の意味が65歳以上に対する占率と受け止め全然数値が合わないので逆算し、元々のパイとなる数字を算出し、要支援・要介護者認定者数全体に対する占率で有ることが判明しましたが、人それぞれ色々な角度から見るので（注）の中に親切な助言があればと思う。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
83	第2編	要支援から要介護にならぬよう1人1人が努力しないとだめだということを感じます。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
84	第2編	自分をふくめ高齢者社会になっていくのが、それなりの年のとり方をしたいです。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
85	第2編	“介護は自宅で（サービス組合せ含む）”…が81.8%に驚く、世代の感覚の違いと思います…多い。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
86	第2編	高齢者の要介護認定者を見ますと、介護3以上は増えています。県、国より高い数字、私の回りも見守りする方も増えています。	・ご意見として承り、要介護状態になっても住み慣れた地域での生活を続けられるように地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
87	第2編	物価が上がり、年金も下がっています。生活が苦しい。特にガソリン代、電気代が高い	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
88	第2編	長寿は県民の宝。大事にして	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
89	第2編	地域活動やボランティアをしている人は、1人で3～4つの活動をしています。しかし全体的に自分だけよければいいと考えている人が多い気がします。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
90	第2編	年金が年々減額されていき、この物価高騰の時、とても大変です。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
91	第2編	介護認定の方法、状態は悪くなっているのに厳しい査定が見受けられるがどうか。	・ご意見として承り、介護認定に係る審査判定を、引き続き適切に行ってまいります。	E
92	第3編	人口や面積を考慮した生活圏域の設定は良いと思う。70才、75才とある年齢になった人にその地域の支援センター等が通知を出し、今後の福祉にどんなものがあるか、どこへ連絡し、どういう手順でサービスを受ければいいのか小さなコミュニティ単位で説明会等あると2編の現状も改善すると思う。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)－【現状と課題】の本文中、「複雑化しています。」を「複雑化しており、相談窓口などの情報が必要な方に届いていない状況が見受けられます。」に修正します。なお、【今後の方策】の中では、「介護サービスをはじめ、高齢者保健福祉の各種サービスの情報提供を行う」としております。	A
93	第3編	鹿児島市においても交通事情に関する声もよく耳にします。住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように地域包括ケアの深化・推進を期待します。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
94	第3編	地域包括支援センターはもっと地域の住民状況の把握や高齢者を抱える家庭の把握等積極的に状況把握をする必要があると思います。相談がきてから動くようでは地域包括ケアの実現は不可能です。ヤングケアラーや老々介護の末の事件など、現代においてあってはならない事例だと思います。介護保険制度を知らない人たちがわかるような宣伝をしないと存在の意味が薄れると思います。事業所の看板が設置されていても、一般の方はわからないと思います。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や地域の関係機関との連携、家族介護者への支援について盛り込んでおり、地域課題の把握などを行う地域ケア会議の充実を図るため、日常生活圏域より小さい範囲で地域課題への対応を検討する地域ケア分科会議を開催することとしているほか、ヤングケアラーなど家族介護者への支援に努めてまいります。	B
95	第3編	関係機関との情報共有やネットワークの構築が今後も課題になっていくのと感じた。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの地域の関係機関との連携や地域共生社会の実現に向けた取組について盛り込んでおり、地域包括支援センターによる関係機関等とのネットワーク構築を図るほか、重層的支援体制整備事業における相談支援において、障害分野や児童福祉分野など他分野との連携を促進することとしております。	B
96	第3編	65才が高齢者になるのか、いづれ生産人口が減っていくので、まだまだ働ける方の対応を考えていけたらと思います。定年後は収入も減り、役割業務はさほど変わらないのに時給も下がり給料が0.7～0.8がけになります。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいくくり・社会参画の促進」－2－(1)の【現状と課題】で「高齢者の多様な社会参画を支援するとともに、就労を促進していく必要がある。」としております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
97	第3編	団塊世代（75才以上）が近い将来さらに進行していく。地域包括ケアシステムの推進。第9期計画に於いて、17の日常生活圏域の設定等、実情に応じた取組を希望します。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」を盛り込んでおり、今後も各圏域の実情に応じた取組を推進してまいります。	B
98	第3編	どこの地域においても買いもの難民と言う言葉を耳にしますが一番の心配事である行政の方でもしんげんに対処していただきたいと思ひます。（地域のリーダーの意見を聞いてほしい）	・重点課題「介護予防・健康づくりの推進」の中に、訪問型住民主体サービス事業を盛り込んでおり、要支援者等の生活援助（ごみ出しや買い物支援など）を行うボランティア団体に対して補助金を交付しております。また、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域ケア会議等の会議・充実（分科会の開催）を盛り込んでおり、日常生活圏域より小さい範囲で地域課題への対応を検討する地域ケア分科会議を開催することとしております。	B
99	第3編	特に今までの各圏域で良いと思ひます。各担当の方々はいつもいねいに対応して下さいます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
100	第3編	特別養護老人ホームについて、待機者が多い故に少なくとも1ヶ所は日常生活圏域に設置を希望したい。	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組を推進してまいります。	B
101	第3編	高齢者が地域での活動や行事への参加が出来るように移手段など参加しやすい環境を整えていくべきです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－（2）で交通機関の利便性の向上として、各種事業を実施することとしております。	B
102	第3編	包括支援センターの業務量の増加に伴い日常生活圏域の見直しを検討し、職員を増やすことで体制強化をはかる。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しており、地域包括支援センターの職員配置については、高齢者人口の推移や業務の実態を把握する中で、対応してきております。また、9期計画においても、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化について盛り込んでおります。	B
103	第3編	第9期計画において、17の日常生活圏域を設定し、各圏域に応じて各種取組を推進してほしい。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。また、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」を盛り込んでおり、高齢者を地域全体で支えるための体制整備など、今後も各圏域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
104	第3編	地域包括支援センターのよりいっそうの充実を願ひます。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化について盛り込んでおり、同センターの機能強化や体制整備に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
105	第3編	地域の分け方は市の都合ではなく住人の都合の良いようになっているのでしょうか。住民どうしの負担はできるだけ避けたいです。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。また、各圏域においては、地域包括支援センターが中心となり、地域ケア会議等を開催し、地域の実情や課題を把握するとともに、関係機関との情報共有や地域ネットワークの構築等を行ってきております。今後も各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
106	第3編	地域包括センターの機能強化、地域密着型サービス事業所の整備など構築されればありがたいことです。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化について盛り込んでおり、今後とも同センターの体制整備に努めてまいります。また、重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、地域密着型サービスの提供について盛り込んでおり、日常生活圏域において可能な限り均一にサービスが提供できるよう整備を促進してまいります。	B
107	第3編	本市は生活圏の範囲が広く地域ごとの支援は効率面・費用対効果の観点から差が大きくなり、本市に合う計画策定には十分な検証が必要と考えます。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。また、各圏域においては、地域包括支援センターが中心となり、地域ケア会議等を開催し、地域の実情や課題を把握するとともに、関係機関との情報共有や地域ネットワークの構築等を行ってきております。今後も各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。なお、9計画においては、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域ケア会議等の会議・充実（分科会の開催）を盛り込んでおり、日常生活圏域より小さい範囲で地域課題への対応を検討する地域ケア分科会議を開催するなど、今後も各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
108	第3編	住宅密集地域と人口減少が進む農村地域との施策のあり方や支援機能の充実を考慮すべきである。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。また、各圏域においては、地域包括支援センターが中心となり、地域ケア会議等を開催し、地域の実情や課題を把握するとともに、関係機関との情報共有や地域ネットワークの構築等を行ってきております。今後も各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。なお、9計画においては、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域ケア会議等の会議・充実（分科会の開催）を盛り込んでおり、日常生活圏域より小さい範囲で地域課題への対応を検討する地域ケア分科会議を開催するなど、今後も各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
109	第3編	地域において各種取組が推進されることを願っています。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」を盛り込んでおり、高齢者を地域全体で支えるための体制整備など、各日常生活圏域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
110	第3編	ご近所同士の付き合いが希薄になっているので、近隣の方の変化に気が付きにくい、支援を受ける前からのつながりを持てるよう掘り所大事だと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)【現状と課題】で「地域のつながりが希薄化する中、地域で孤立しやすい状況におかれている方への対応が、これまで以上に求められています。」としております。	B
111	第3編	地域包括センターは吉野地区においては広域で要支援の方を見守るのは行き届かないのではないかと思います。人口も増えております。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しており、吉野圏域においては緑ヶ丘にサブセンターを設置しております。今後も、各圏域の地域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
112	第3編	日常生活圏域（1）地域密着型サービス事業所及び地域包括センター 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護については現状では必要かつ、家族が希望するサービスを十分受けることが難しいと思われまます（利用者負担も高額）定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護については実際に対応できるのは個人宅ではなく、併設の有料施設に限られている事業所が多く、利用が難しい現状です。	・重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、地域密着型サービスの提供について盛り込んでおり、今後の利用動向等を踏まえながら、日常生活圏域において可能な限り均一にサービスが提供できるよう整備の促進に努めてまいります。	B
113	第3編	市がいろんな条件を総合的に考え、地域性なども考慮しつつ今の日常生活圏域の考え方ができていると思います。地域包括ケアシステムを市民に理解していただき、市民お一人おひとりに参加していただけるように小さなことからできていけばよいと考えます。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、高齢者を地域全体で支えるための体制整備について盛り込んでおり、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、今後も地域の実情に応じて、高齢者を地域全体で支えるための各種取組を推進してまいります。	B
114	第3編	第9期計画において、日常生活圏域を設定、実情に応じた各種取り組みをお願いします。	・日常生活圏域については、鹿児島市総合計画の地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。また、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」を盛り込んでおり、高齢者を地域全体で支えるための体制整備など、今後も各圏域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
115	第3編	地域包括支援センターの機能強化、システム深化で、地域の現状をしっかりと把握されることに期待しております。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や地域の関係機関との連携について盛り込んでおり、地域課題の把握などを行う地域ケア会議の充実を図るため、日常生活圏域より小さい範囲で地域課題への対応を検討する地域ケア分科会議を開催するなど、今後も各日常生活圏域の実情に応じた各種取組を推進してまいります。	B
116	第3編	地域密着型サービス事業所等の利用を必要に応じて活用できるように、これからも地域包括支援センターを中心に日常生活に対する情報共有ができればと思います。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターによる地域の関係機関との連携について盛り込んでおり、今後も関係機関等とのネットワーク構築を図りながら、高齢者やその家族への相談支援などを行ってまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
117	第3編	地域包括支援センターを知らせることが大切です。町内会にも入らない方は特に情報が伝わらないです。	・地域包括支援センターについては、今後もホームページや市民のひろば、チラシ等のほか、市職員による市政出前トークの実施により周知を図るほか、町内会などの関係機関等とのネットワーク構築を図りながら、高齢者やその家族への相談支援などを行ってまいります。	B
118	第3編	域内で高齢者が気軽に買い物にいける手段の構築を念頭においてほしい。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
119	第3編	関係機関との情報共有や、地域ネットワークの構築に、長く近くで存在を知っている町内会の区長班長と“長”の付く役を受けている方々にも、生活状態（何人でお暮しか）、健康（病気は…？）、介護サービスを受けているのかの情報は与えても良いのでは…。生死が不明（移転、入院などで）が個人情報云々で増えているのは命の尊さを軽んじるような…、淋しさを覚えます…	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
120	第3編	私共の町内に買い物の出来る所（スーパーかコンビニ）ができたらいいね。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
121	第3編	安心安全な日常生活を維持するには各家庭における一家和楽の生活はもとより、近隣友好の生活習慣はもとより、町内会民生委員の活動が大事ですが、民生委員の活動にも限界があり、各家庭の生活状況を完全に把握できない状況があるようです。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
122	第3編	住宅問題、上の階の人が下の階へ下りて、現状問題で下りられないでいる。いい方法を是非	・ご質問のあったご近所トラブルについては、弁護士等へご相談ください。	E
123	第3編	日常は運動推進をさせていただくことでいろいろ勉強をさせていただいて毎日を楽しんでいます。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
124	第3編	町内会の加入率が50%を切り、地域自治は崩壊していることを認識すべし。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
125	第3編	近くの世話人がいちばん頼りになる	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
126	第3編	お店に行くのを控えている	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
127	第4編	介護の必要になったとき、いかにすべきか特に孤独高齢者は戸惑うケースがあります。介護サービスの受け方や介護施設の所在地等全くわからないのが現状です。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)－【現状と課題】の本文中、「複雑化しています。」を「複雑化しており、相談窓口などの情報が必要な方に届いていない状況が見受けられます。」に修正します。なお、【今後の方策】の中では、「介護サービスをはじめ、高齢者保健福祉の各種サービスの情報提供を行う」としております。	A
128	第4編	施策が実行されることが住みやすい鹿児島市になると感じました。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
129	第4編	実行できれば理想の体系だと思います。実行の成果がでるまでには時間がかかると思いますが、先を見据えて継続的な実施と我々のような福祉・医療に携わる職員もそれぞれのところで、意識改革とスキルを上げていかなければと改めて思います。あとはやはり人手不足の解消ができていければと思います。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
130	第4編	認知症の勉強会等で知識を増やし、ケアの質の向上が必要	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－（1）「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「具体的取組」の中に、認知症に関する知識やケアの質の向上を図る「認知症介護教室」等、各種施策に取り組むこととしております。	B
131	第4編	分かりました。安心安全は必要不可欠です。	・ご意見については、「第4編 施策の体系」－「第1章 基本的な目標」－2で「安全で住みよい環境づくりを推進し、高齢者の安心・快適な暮らしを確保します。」としております。	B
132	第4編	地域のネットワークの充実の必要性。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの地域の関係機関との連携や地域共生社会の実現に向けた取組について盛り込んでおり、地域包括支援センターによる関係機関等とのネットワーク構築を図るほか、重層的支援体制整備事業における相談支援において、障害分野や児童福祉分野など他分野との連携を促進することとしております。	B
133	第4編	第1章の基本的な目標（1～5）、第2章重点課題とそれに対する取組・施策の重点課題の取組みに期待します。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
134	第4編	高齢者にとっていろんな窓口（包括支援センター）があり、各町内会においても民生委員あり、コミュニティあり、町内会長あり、相談窓口はたくさんありますが解決策は改善されていません。本人の自覚を促せることが大事。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおり、住民が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに、関係機関や地域が連携して対応する重層的支援体制整備事業の体制を整備するなど、地域コミュニティ協議会、民生委員・児童委員、町内会等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
135	第4編	福祉の分野は幅が広いので大変だと思います。施策は立派だと思います。これからは高齢者の生きがいづくりや居場所づくりに重点を置き介護予防に取り組むことが必要だと考えます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
136	第4編	第1章基本的な目標、第2章重点課題とそれに対する取組は望ましいことだと思う。この体系図に従って次の段階へ移行してほしい。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
137	第4編	認知症を患ったとき、いかにすべきか特に孤独高齢者は戸惑うケースがあります。介護サービスの受け方や介護施設の所在地等全くわからないのが現状です。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスなどの提供の流れを示した認知症ケアパスや認知症及びその予防に関する正しい知識の普及、相談窓口の周知等、情報提供に努める」、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。	B
138	第4編	認知症対策で認知症の方はもちろんのこと、その家族においても何らかの支援対策がスムーズに進められるよう望みます。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「具体的取組」の中で、「相談員等による相談、訪問指導」や「地域における支援体制の構築」に向けた各種施策に取り組むこととしております。	B
139	第4編	具体的に誰がどんな支援をするのかももう少し知りたい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」の各章の【具体的取組】で各種事業を実施することとしております。	B
140	第4編	具体的に誰がどんな支援をするのかももう少し知りたい。推進に向かってわかりやすいと思いました。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
141	第4編	生きがいづくりの推進、ケアシステムの推進、ありがたいことです。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
142	第4編	1. の社会参画、生きがいづくりを実行したいと思っても外出するとなると交通手段の少なさが現実問題だと思えます。具体的にはバスの便の少なさは外出する機会をぐんと減らします。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)で交通機関の利便性の向上として、各種事業を実施することとしております。	B
143	第4編	介護家族の心の声、メンタル、親族間での介護による不満（不平等からの）不仲が普通に話題に上がっておりますが…蓋をされがち…中年、壮年女性の声をたくさん拾って頂きたいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「具体的取組」の中で、介護家族の心の声に寄り添うため「相談員等による相談、訪問指導」や「地域における支援体制の構築」に向けて、各種施策に取り組むこととしております。	B
144	第4編	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が増えてきている中で、実務基準やサービスの質の維持が他事業所と足並みをそろえる必要があると思えます。	・重点課題「安全で住みよい環境づくりの推進」の中に、有料老人ホーム等に対する集団指導について盛り込んでおり、今後も引き続き、高齢者向け住宅の質の確保が図られるよう指導の充実に努めてまいります。	B
145	第4編	高齢者に安心して暮らしていただくために、一番身近なことは、高齢者老化を理解して進めることだと思います。その上での施策の体系が生きてくると思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
146	第4編	重点課題、目標達成するために施策取り組みに賛同します。介護予防の一貫でもある、お達者クラブ、よかよか体操への取り組みは認知度が高く、多くの方が参加され、生きがいを持っておられますが、（サポーター手帳）ボランティアへの参加の認知度の低さを感じますので、呼びかけももう少しなされてほしい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－1－(1)の【具体的取組】「一般介護予防事業の充実」で取り組んでいくこととしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
147	第4編	重点的に取り組むべき課題が具体的に5つの目標に設定されていると思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
148	第4編	様々な取り組みが行われていることはわかりますが、住民にとって利用しやすい、わかりやすい仕組みになってほしいと思います。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
149	第4編	基本的な目標の中には推進と促進の文字が多くありますが、まずは現場の問題点課題を検証することも重要ではないでしょうか。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
150	第4編	在宅部門についても1回/1年短時間でも構わない中での実地指導は必要であると考えます。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
151	第4編	在宅生活支援についての紙おむつ助成事業についてショートステイ者宅で段ボール箱が山積みになっているのを確認することがあります。各個人必要に応じた量と必要なオムツの種類を各介護度予算内で発注できる仕組みや担当ケアマネジャー業務として委託してもよいのではないかと考えます。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
152	第4編	高齢者は右も左も聞こえなくなっている方が非常に増えています。補聴器購入制度は是非必要です。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
153	第4編	素案P40,3、(1)の中の新型コロナウイルス感染症拡大などの危機事業とあることから、素案P33の体系図第2章、3及び(1)の感染症を新型コロナウイルス感染症対策、新型コロナウイルス感染症などに変更した方が理解できる。	・新型コロナウイルス感染症のような新たな感染症のみならず、既存の感染症にも対応する必要があることから、ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
154	第4編	町内会の活動にいろいろ参加できるように「声かけ」をしっかりしていきたいと思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
155	第4編	地域包括支援センターの機能強化の中で「24時間フルタイム」相談センターを設置してほしい。	・地域包括支援センターの電話対応については、開所時間以外の緊急時において、24時間対応が可能な体制を整えております。	E
156	第4編	体系はよく考えられています。全体的に“在宅生活”“地域での暮らし”…相対して、“積極的な福祉施設入居”は…？推進を憚る訳を知りたく思いました。	・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、高齢者を地域全体で支えるための体制整備について盛り込んでおり、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の実情に応じて、高齢者を地域全体で支えるための各種取組を推進します。また、重点課題「介護サービスの質的向上」において、介護サービス基盤の整備の促進にも取り組んでまいります。ご意見として承ります。	E
157	第4編	介護保険料が高い	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
158	第4編	生きがいづくり社会参画の促進は町内会を利用して役員に情報を伝えて協力してもらおう。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
159	第4編	町内会でイベントを沢山してもらおう。町内会に予算も増やしてもらいたい。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
160	第4編	基本的な目標がすべて達成されることを！	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
161	第4編	良いと思います	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
162	第4編	1～5までは希望するものです。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
163	第5編	高齢者の方のボランティア活動に期待します。今までの経験を地域で活かし、社会との交流が保てることをお願いしたいと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいつくり・社会参画の促進」－2－(1)の【今後の方策】で「高齢者によるボランティア活動や生涯学習・スポーツ活動を推進するなど、社会参画を支援するとともに、高齢者が長年培ってきた豊富な知識や経験を生かすことができるよう、就業機会の確保を図る。」としております。	B
164	第5編	第2章の在宅サービスの充実の(1)に記載のある、各種福祉サービスの充実を図るといふ点を具体的にどのようなことを考えているのか知りたいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－1－(1)の【具体的取組】で在宅生活の支援やひとり暮らし高齢者等への支援として各種事業を実施することとしております。	B
165	第5編	第3章の「1」の(1)の認知症ケアパスという点について、普及されればとても良いものだと思います。どのような形で活用されるのか楽しみです。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
166	第5編	立地や必要な介護事業の見極めが必要。(空きのある施設も多いのでは?)	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。	B
167	第5編	良いと思いますが、各項目のその先の具体的計画が知りたいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」の各章の【具体的取組】で各種事業を実施することとしております。	B
168	第5編	1人ぼっちを作らない！の意識の向上	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)の【今後の方策】で「高齢者が地域で孤立せずに安心して暮らせるよう支え合う地域づくりを支援します」としております。	B
169	第5編	第1章生きがいつくり、社会参画の促進(外出の促進等)高齢者が安心、快適に過ごせる福祉サービス、高齢者が安心して暮らせる「まちづくり」	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)の【今後の方策】で「高齢者が生活しやすいまちづくりを推進する」としております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
170	第5編	認知症対策の充実等	・認知症対策の充実等については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」-1「認知症の人やその家族への支援の充実」の中で、現状と課題を踏まえ、今後の方策に沿って具体的取組を行うこととしております。	B
171	第5編	高齢者が安心して暮らしていくための担い手不足も問題だと思います。町内会、民生委員ともに後継者がなかなか見つかりません。行政・地域が一体となって取り組まなければいけないと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)の【今後の方策】で「地域福祉ネットワークの推進に努めるとともに、地域住民が助け合い、支え合う地域づくりを支援します。」としております。	B
172	第5編	認知症の方への支援にしっかり取り組む（早期発見、早期対応）ことが必要である。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「今後の方策」の中で、「認知症初期集中支援チームを活用し、当事者の意向を十分に把握する中で、早期段階からの適切な支援を行うなど、認知症基本法等を踏まえ、各種施策を推進」することとしております。	B
173	第5編	第1章生きがいづくり・社会参画の促進、第2章高齢者の安心・快適な暮らしの確保については現在も良好な状態であり、さらに展開できたらすばらしいと思う。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
174	第5編	「高齢者の安心・快適な暮らしの確保」として、公共交通機関が地域によってばらつきがあることから、買い物や病院に行く足がないとのことで、車の免許を手放せない等の意見も聞かれることから、その辺の交通の確保を検討していただきたい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)の【具体的取組】交通機関の利便性の向上として「公共交通不便地対策事業」を実施することとしております。	B
175	第5編	バスからの昇降時に転倒する高齢者が今なお多いことから、低床型バスの増便をお願いしたい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)の【具体的取組】交通機関の利便性の向上として「低公害低床型バスの運行」を実施することとしております。	B
176	第5編	「認知症対策・権利擁護の推進」の成年後見制度について、今後まだまだ高齢者単身世帯、高齢者夫婦のみの世帯も増加していくなか、成年後見制度がなかなか浸透していない状況が感じられます。保険・医療・福祉で働く職員は勿論、一般にも浸透していくような講習会など身近な所での開催も今後検討して頂きたい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」2－(1)「成年後見制度の利用促進」－「今後の方策」の中で、「関係機関と連携し、日常生活の自立支援や成年後見制度の利用促進」に取り組むこととしており、「具体的取組」のひとつである「成年後見センター運営事業」の中で、各種講座の開催や講師の派遣による制度の周知等を行うこととしております。	B
177	第5編	「介護サービスの充実」について、介護施設におけるマンパワーの確保、そこで働く職員、職種に関係ない処遇改善を第一としたうえで質の確保をお願いしたい。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
178	第5編	人材確保が課題であるとよく聞きますが、働く人の待遇面が充実するよう進めてほしいものです。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
179	第5編	私の地域において、公共バスが年々減便され、このままいくと廃止されてしまうのではと不安を感じています。自分の足で動ける間は公共交通機関は必要不可欠です。社会参画の推進を、生きがいつくりの推進を進めるためにも移動手段について何かよい策を見出していただければありがたいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)で交通機関の利便性の向上として、各種事業を実施することとしております。	B
180	第5編	いつまでもすることがある行くところがあるのは大事なことだと思います。そのため移動手段(交通手段)駐車場の確保などがないと、使いづらいとなったら残念です。色々な面で早めの対策をお願いします。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)で交通機関の利便性の向上として、各種事業を実施することとしております。	B
181	第5編	具体的な施策の策定にあたり、市民の意見をどのようにしてとり入れるか市民参画のあるべき姿とはいかなるものか考えさせられる。	・ご意見については、「第1編 計画策定の趣旨等」－「第4章 計画の策定・管理体制と情報の公表」1－(2)で「パブリックコメント手続を実施し、市民からの意見の把握に努めます。」としております。	B
182	第5編	シルバー人材センターとの連携	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいつくり・社会参画の促進」－2－(1)の【今後の方策】で「シルバー人材センターとも連携して、就業機会の確保を図ります。」としております。	B
183	第5編	多様な施策の展開が上げられていますが、これからの時代は利用者への取組みよりも施策実行に必要な人員確保と体制づくりが先決と考えます。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
184	第5編	3章について。本年成立しまだ施行されていない共生社会の実現を推進するための認知症基本法13条では、市町村に対し認知症推進基本計画の努力義務ではありますが定めておりますので、国が策定する計画に追従するだけでない、積極的姿勢も必要のように思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「施策の実施等に当たっては、認知症基本法に基づいて国が策定する「認知症施策推進基本計画」等で示される国と地方公共団体との役割分担等を踏まえ、地域の実情に応じて必要な対応を行う」こととしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
185	第5編	介護保険等の制度的福祉サービスに限らず高齢者の生きがいくくりとしてサロン活動等を通じての見守支援体制を広報活動を含めて推進すべきである。	<p>・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－1－(1)の【今後の方策】で「通いの場への参加を促す等、高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチを含めた介護予防の充実を図る」としてしております。</p> <p>また、「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(2)「認知症の人やその家族を支える支援体制の構築」－「今後の方策」の中で、「地域における交流や社会活動への参画、それらの活動を通じた意見表明等を行えるようチームオレンジ設置運営支援事業により引き続き支援を行う」ことや、「具体的取組」として、支援体制の構築に向けた各種施策を記載しております。</p>	B
186	第5編	生きがいくくりの推進はすばらしいと思います。	<p>・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。</p>	B
187	第5編	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進については、三組織の連携すなわち、社協、民児協、 <u>包括センター</u> を強化する。その為には従事者の勤労環境を整備充実すべし。	<p>・重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの地域の関係機関との連携や地域共生社会の実現に向けた取組について盛り込んでおり、地域包括支援センターによる関係機関等とのネットワーク構築を図るほか、重層的支援体制整備事業における相談支援において、障害分野や児童福祉分野など他分野との連携を促進することとしております。また、重点課題「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や体制整備について盛り込んでおります。</p>	B
188	第5編	第2章の1の(1) 家族介護者へのケア、介護者の離職防止も急がれる問題とします。	<p>・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－1－(1)【今後の方策】で「在宅での介護を必要とする高齢者やその家族介護者等の福祉の向上や経済的負担の軽減及び介護による離職を防止し、高齢者が安心・快適に過ごせるよう、各種福祉サービスの充実を図ります。」としております。</p>	B
189	第5編	第2章の2の(1) 高齢者の民間賃貸住宅の入居促進については希望が見えます	<p>・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。</p>	B
190	第5編	それぞれの立場で目標に向かっていけるよう皆、幸せに暮らせるよう展開してほしいです。	<p>・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。</p>	B
191	第5編	風水害時の対応について、現状は総合事業の方々の短期入所受け入れは自費であっても出来ない現状があるが、降水量予測等の基準を設けた上で、自費でも受け入れられるような体制作りが必要だと考えます。独居や身寄りのない方も多く、台風等の接近時に不安であるが近隣の公民館等も解放されない場合もあるため、検討する必要があると考えます。福祉避難所の充実と連絡体制の構築について、災害時、福祉(地域)避難所との衛星電話の設置や備蓄品の支給、非常用発電機(ポータブル含む)・車両の派遣優先順位など配慮等検討して頂きたいと思ひます。	<p>・重点課題「災害・感染症対策の充実」の中に、大規模災害や感染症など危機事象への対策の充実について盛り込んでおり、介護事業所等における避難確保計画に係る実行性を高めるための運用支援を行うなど、関係機関等とも連携した取組に努めてまいります。</p>	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
192	第5編	第5章 介護サービスの充実 2(2) 介護人材確保・介護現場生産性向上の促進 項目だけで中身がなく、何をどのような形で推進しようとするのか具体策が必要。新たな人材だけでなく、すでに働いている方に対しての更なる活躍を促す取り組みが必要。人材確保・安定化の前に施設の整備を行うと職員の分捕り合戦になり、サービスの格差が生まれるのではないのでしょうか。外国人人材について記載がない。どのような考えを持っておられるのでしょうか。介護ロボットやICT化は人材不足の介護業界に必要不可欠と思われますが、一方で介護業界は比較的高齢の職員も多く、IT機器が苦手な方も少なくありません。活用事例の周知のみで導入に繋がるかは不透明と考えます。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、ICT化等の職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など外国人材を含めた介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
193	第5編	成年後見制度むずかしく支援が必要な人を適切に制度の利用ができるようにしてもらいたいです。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」2－(1)－「成年後見制度の利用促進」－「今後の方策」の中で、県弁護士会など専門職団体や民間・地域関係団体などで構成する「成年後見制度推進協議会」のネットワークを活用して支援が必要な人を適切に制度の利用に繋げることとしております。	B
194	第5編	支え手の現役世代が急速に減少する中、増える高齢者の方々をいかに社会参加へ導くか多様活動支援がとても大事なことだと思います。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第1章 生きがいつくり・社会参画の促進」－2－(1)【今後の方策】で「高齢者が長年培ってきた豊富な知識や経験を生かすことができるよう、就業機会の確保を図ります」としております。	B
195	第5編	現実的な介護職員の確保代替サービス等や処遇改善策等による人材確保や定着できるような取り組みを望みます。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
196	第5編	5つの目標に対して、実施すべき方策が詳細に掲げてあると思います。実行するには各機関の情報共有、地域住民、民間活力の協力、環境整備、取り組み内容を広報する事で高齢者が安心して暮らせる場所になると思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	B
197	第5編	先ず高齢者の一番のこまり事は何かを、行政には耳をかたむけてほしい。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
198	第5編	2. 地域包括ケアシステムの深化・推進については、三組織の連携すなわち、社協、民児協、包括センターを強化する。その為には従事者の勤労環境を整備充実すべし。	・ご意見のあった社協、民児協の強化については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
199	第5編	高齢者を何歳からと設定しているのか？高齢者になって今から高齢者ですと進めるのではなく、時間は止まらないので必ず高齢者にはなるのでどの世代にも高齢者になっていくこと、10年後、20年後30年後をどのように生きていくのか教育の場でも考えてもらいたい。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
200	第5編	分かりました。令和6年度介護報酬改定があります。利用者の負担増にならないか心配です。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組めます。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
201	第5編	本項目については十分に納得させていただきました。本町におきましては「お達者クラブ」等を通じて色々と学習させていただいておりますが、色々な活動に参加されない高齢者への対応に苦慮しております。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
202	第5編	90代の女性、息子夫婦が自宅の2階に住んではいるが、70歳を超えており介護力には乏しい状況にあるのにも関わらず、訪問介護も訪問給食もお願いできない。同じ介護保険料を納めているのに・・・との言葉が聞かれます。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
203	第5編	第2章の2の(1)5行目「集団指導の実施」について具体的に内容を知りたく思いました。	・集団指導の実施については、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に対して、令和4年度は、有料老人ホーム設置運営指導指針のポイント、事故報告書等について指導を実施しております。今後も引き続き、高齢者向け住宅の質の確保が図られるよう指導の充実に努めてまいります。	E
204	第5編	第4章 介護予防・地域支援体制の充実 自宅から出る事が前提になってますが、感染症の不安等で自宅から出たくない方に対する介護予防の取り組みについても記載があればと思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
205	第5編	高齢者も今まで大変苦勞して過ごしてきました。広く広く保険料も減らし、医療保険は70歳以上全員1割にしてください。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
206	第5編	施策はよく考えられていると思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
207	第5編	高齢者福祉をどんどん進めてもらいたいです。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
208	第6編	見込量、目標量が示されることで事業所としては運営が行いやすいと感じます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
209	第6編	素案P62～の中で、各事業のサービス見込量や目標量について、この計画（R6～R8）の策定がR6年3月末となることから、R5年度実績を参考となると間に合わないと思うので、R3～R5年途中までの実績を参考に作成されることを望みます。	・サービスの見込量や目標量については、R5年度直近までの実績をもとに年度実績見込みを算出し、計画期間の見込量等を算出する予定としています。	B
210	第6編	施設や居住系サービスの状況や年度のサービスの種類についてや、地域密着型サービス、介護予防サービス、認知症対応の施設情報等、詳細な情報の提示等希望します。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)－【今後の方策】で、「介護サービスをはじめ、高齢者保健福祉の各種サービスの情報提供を行う」としております。また、「施設やサービス等、詳細情報の提示等」については、本市が毎年発行している「介護サービス事業者ガイドブック」に掲載しております。	B
211	第6編	基本的な考え方に沿って、今後設定していけばいいと思う。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
212	第6編	適正なサービスがなされるように人材確保が大事と思います。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
213	第6編	令和5年度の実績がどのくらいなのか現状と実状は合致しているのかそこがわからず、5年を基礎としと言われてもピンときません。2編を参考にすればいいのか？	・第9期のサービス見込量等は、令和5年度の直近までの実績をもとに推計することとしており、5年度の実績（見込）については、今後の事業計画策定委員会でお示しすることとしております。	B
214	第6編	見込量算定に利用実績を基礎とする様ですが、利用実績のデータはどのくらいの情報量があるか気になります。右肩上がりが増大する利用実績を細分化して将来に活かす工夫も必要です。	・サービス見込量算定に当たっては、直近までのすべての利用者の利用実績や、訪問介護や通所介護などのサービスごとに必要な要素を総合的に勘案して推計することとしております。	B
215	第6編	これまでの利用実績、施設整備、入所待機者の状況を考慮してサービスに介護保険が有効に使用されていると思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
216	第6編	ひきこもりについて調査はあったが、相談・訪問等のサービスについて考えてほしい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)の【今後の方策】で「高齢者が地域で孤立せずに安心して暮らせるよう、地域による福祉活動を推進する」としております。	B
217	第6編	ユニット型の特養は空きがあり、多床室は待機が多いという中で、ユニット型（個室前提であれば）が増えても、施設の空床が増え続けるだけだと考えています。	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況などを考慮しながら、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
218	第6編	加齢性難聴者への市独自の補聴器購入助成をお願いします	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
219	第6編	稼働率の悪い法人は新規の事業所の開設ができない等しても良いのではないのでしょうか。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
220	第6編	老人福祉施設の目標量については興味のあるところであります。	・施設サービスについては、これまでの利用実績や入所待機者の状況を考慮し、必要数を確保してきており、今後も利用実績等を考慮しながら取組みを推進してまいります。	E
221	第6編	独居老人等の施設入所希望者の施設利用料金について最低保障年金では入所できない高齢者が出てくるために制度の見直しを要望する。	・施設の利用料については、基本的に国において定められた基準額を基に設定されております。	E
222	第6編	見込みはなかなか難しい	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
223	第6編	特養施設の待機者数は各施設がきちんと待機者の更新を行うことと、市の方で年に2回提出する待機者集計のD表を見て待機者の生死や居住地等を照合はできないのでしょうか。	・施設から提出された待機者名簿については、市において、生死、居住地等の調査をして、把握しております。	E
224	第6編	日本国は豊かすぎるくらい恵まれていると思っている。我々戦前戦中に生まれた者については全く考えもつかない日本人古来の価値観も変化しているのが現状だ。外国は外国日本はどうあるべきか考えなどする事も肝要である	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
225	第6編	すべての人に平等はもちろん難しいですが、希望に添えるようになってほしい。ボランティアに頼りすぎず運営できる方が良いと思う。実績ばかりではなく現状に必要なものを考えてほしい。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
226	第6編	今は自分のことは自分でできるけど、いろんなサービスを利用できたらと思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
227	第6編	あまり良く理解できませんでした。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
228	第6編	介護保険料が高すぎる。可処分所得を圧迫して高齢者の生活は苦しくなる一方だ。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
229	第6編	いずれも今年度の利用実績をもって見込量を算出することと存じます。市民の福祉、介護もとめている方にすべてとどくように願います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
230	第6編	介護保険料を支払っている市民の高齢でかつ要支援、要介護になっている人数について、市はご存知だと思います。また、何をどこで利用しているかも統計がでているのでは、そこから「サービスの見込量及び目標量は推測できると。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
231	第6編	見込量、目標量について、次の基本的な考え方に沿って大変な事業になる事に	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
232	第6編	色々地域支援事業は沢山あり良いと思います。知りたい人利用したい人がいち早く知って利用していただければ、住みよい鹿児島市になっていくと思います。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
233	その他	計画素案はよく考えられてつくられていると思います。支援事業を必要としている人にどうやって知らせるか、地域のボランティアの人、町内会役員のロコミ、「市民のひろば」でしょうか。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第5編 施策の展開」－「第5章 介護サービスの充実」－3－(2)－【現状と課題】の本文中、「複雑化しています。」を「複雑化しており、相談窓口などの情報が必要な方に届いていない状況が見受けられます。」に修正します。なお、【今後の方策】の中では、「介護サービスをはじめ、高齢者保健福祉の各種サービスの情報提供を行う」としてあります。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
234	その他	とても複雑でした。一番興味のある施策の展開がもう一步踏み込んで計画されているとそれ相応の意見も出るのかなと思うところでした。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」の各章の【具体的取組】で各種事業を実施することとしております。	B
235	その他	高齢化の急激な増加に伴う「安心快適な暮らしの確保、特に認知症対策については行政の各機関において住民への告知を促進してほしい。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第3章 認知症対策・権利擁護の推進」1－(1)「認知症に関する理解の促進や情報提供」－「今後の方策」の中で、「より多くの方に情報が届くよう手段等の改善に努める」こととしております。	B
236	その他	困り事は千差万別、福祉サービスの相談も多種多様になってきていると思います。いつも親切に対応して下さる関係者の皆様に感謝いたします。有難うございます。これからも市民のためによりしくお願いいたします。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
237	その他	計画については、必要な課題について、計画し、実施・展開していくことなので、高齢者の一人として、また、老人クラブの役員として期待している。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
238	その他	色々とおぼせていただきました。高齢者に対する諸策の作成に感謝しております。いかなる施策や行動も組織運営のためのものではありません。高齢者一人一人住民一人一人に目を向けた誰でもわかりやすい納得できる計画の策定を願います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
239	その他	最近、介護人材不足をよく耳にします。介護現場で働く方々の改善、働く生きがいをもっていただくためにも職場環境等の改善にも力を入れていただければと思います。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
240	その他	子育て支援について多く言われている気がしますが、高齢者の暮らしも充実しているようでよかったです。高齢者が暮らしやすいと多くの人が暮らしやすいのかなと思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
241	その他	このパブリックコメントが集約されて計画が策定され事業計画が着々と進むことを望みます。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
242	その他	介護人材の確保は、早急に対応が必要だと思えます。介護者なくして、計画の実現は難しいと思えます。	・重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加し、関係団体と連携した新規就労促進の取組やインターンシップ等の受入、職場環境の改善事例を共有する取組のほか、処遇改善の推進など介護人材の確保及び育成に努めてまいります。	B
243	その他	高齢者が安心して暮らせる社会に。また、希望するサービスが受けられる事ができるといいと思います。この計画が推進・実行されれば必ず良い高齢者の生活になると思います。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
244	その他	自動車免許証返納後、高齢者が行動できる交通手段が少ない。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)で交通安全対策の推進として、「高齢者運転免許自主返納サポート事業」を実施することとしております。	B
245	その他	市の現状を踏まえ、高齢者にとって地域の中で安心して暮らせるまちづくりを目指す計画内容に賛同するが時々迄周知することに重点を置いて欲しい。	・賛同のご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	B
246	その他	お達者、老人クラブなど参加できなく家にいる高齢者など民生委員としても声かけますが、行政としても見回りに協力する体制をお願いします。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第4章 介護予防・地域支援体制の充実」－2－(4)で高齢者が地域で孤立せずに安心して暮らせるよう、心をつなぐともしびグループ活動推進事業等を実施することとしております。	B
247	その他	本計画案を参照したうえで、市民から今必要とされているサービスの充実やサービスを運営する中での報酬単価や人手不足問題、また現状必要不可欠である入居施設の急増など、これから3年間に目を向け10年先のモデルを構築していく必要があると思います。本当に「今」困っている「人」「事」「もの」に的確に把握、手厚いサービスが提供し続けられるよう介護事業の運営に目を向ける鹿児島市であることを期待します。	・将来にわたって安定的な介護サービスの提供体制を確保していく観点から、職員の負担軽減、職場環境の改善などの介護現場の生産性向上に取り組む必要があるため、9期計画においては、重点課題「介護サービスの質的向上」の施策の方向として「介護人材確保・介護現場生産性向上の促進」を新たに追加したところであり、オンライン申請システムの活用や、職場環境の改善に向けた研修や改善事例の共有、介護ロボットやICTの活用事例の周知など、介護現場の生産性向上の取組を推進します。	B
248	その他	地域高齢者の作品や福祉用具の展示がありました。会場は駐車場が狭いため、車来場禁止でした。普段はその会場は地域の方が活用されており、足の不具合の方は車で来場されています。杖や介護ベッド、歩行器など、最も見ていただきたい方々が見に行けないことに本末転倒だと思いました。他県では地域高齢者の移動に乗り合いバスなど聞きます。敬老会も遠くて行けない方もいらっしゃいました。これからはこのようなサービスも必要かと思えます。	・ご意見については、「第5編 施策の展開」－「第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保」－2－(2)で交通機関の利便性の向上として、各種事業を実施することとしております。	B
249	その他	単身者の高齢化が益々増加してきます。単身者の住宅は持家と賃貸では事情が変わります。賃貸での単身者はどれ位存在するか。特に女性の単身者についての取組が必要と考えます。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
250	その他	市民で高齢者社会をどう支えていくか、在宅で安心して暮らせるしくみ、地域ぐるみで見守りができるしくみを市民一人ひとりからわきあがってくるような、地域愛に満ちたしくみを作り上げていただきたい。	・ご意見については、今後、施策や事業の検討にあたっての参考とさせていただきます。	D
251	その他	計画素案の中で、認知症ケアパス、フレイル予防、グローバルパートナーシップ、単位高齢者クラブ、地域包括ケアシステム、住宅セーフティネット制度など専門用語があり、わかりにくいので注釈があると理解できる。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「主な用語の解説」に説明文を盛り込みます。	E
252	その他	高齢者同士のトラブルの場合で被害にあった方の相談窓口はあるのでしょうか。	・ご質問の件については、第9期計画の策定とは関係がないため、ご意見として承ります。弁護士等へご相談ください。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
253	その他	計画素案の中にある表や図の中に出典名のないものがあるので表記した方がよい。	・ご意見の趣旨を踏まえ、「第2編 本市高齢者を取り巻く現状」－「第1章 高齢者等の現状」－2－【本市の認定率と国・県との比較】のグラフに出典名を表記します。	E
254	その他	支払保険料の負担軽減化長期計画制度の導入	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
255	その他	改めて高齢者保健福祉・介護保険事業計画への取り組みを詳しく知ることができ、ありがたいでした。介護保険料に対する考え方が変わりました。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
256	その他	これから介護を受ける方たちに（高齢者、その前の段階の方を含めて）「介護を受ける上でのモラル、心がまえ」を教育、啓蒙してほしい。介護を受けられることを幸せと思う気持ちがなければ今後この業種は続けられなくなると思う。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
257	その他	取り組む過程で様々な問題や課題がみえ、時間と繰り返しの検討が必要になってくるかと思いますが、一人ひとりが「我ごとまるごと」の精神で実現に近づいていければと願っています。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
258	その他	77才の者です。私の姉兄、私自身介護保険は使っていません。病院には行きますが健康を何とか維持しています。このように高齢で介護保険を使ってない人には何か「見返り」は考えていないのでしょうか。年金暮らしの者には介護保険料の負担も大きいです。消費税無くしてほしい。福祉の為に本当に使われているのでしょうか。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
259	その他	我々の少年時代は人口8子～5子と言われもうすぐ一億だという学校での話であったが若者の結婚感人生感あまりにも自由すぎる感じがある。一定の思想は作るべきと思う。何もかもがそれは昔の事と言うべきではないと思う	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
260	その他	市役所職員の退職者をボランティアとして活用されたい。私どもの地域では市役所0Bの町内会未加入（公務員0B）者が多い。職員教育をしっかりとってほしい。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E
261	その他	地域のゴミ屋敷について解決方法等を考えてほしい。	・ご意見として承り、第9期計画の策定・推進に取り組みます。	E